

11/26 (木) 健康・長寿・友愛を祈念して 長田かりゆし会が激励会を開催



創立50年以上の歴史がある長田かりゆし会が、92歳を迎えた会員へ健康と長寿、友愛を祈念して激励会を開催しました。会では、コロナ禍で参加が難しい対象となった8名の方へ、長田かりゆし会による「長田ジントーヨー」や激励のメッセージが届けられました。同会の宜野座晃会長は、「夢を持ちながら常に前進していくのが長田かりゆし会です。長田区から元気を発信して、自治会加入への推進を広めていきたい」と話しました。

11/26 (木) 普天間高校、卓球部・バドミントン部 沖縄県高等学校新人体育大会結果を報告



普天間高校男子・女子卓球部、女子バドミントン部の皆さまが、令和2年度沖縄県高等学校新人体育大会の結果報告と九州大会の派遣報告に市役所を訪れました。女子卓球部の友寄綾香さんは「チームとして初めての遠征で、緊張や不安もありますが、切磋琢磨して頑張ります」と述べ、女子バドミントン部の新垣愛さんは「九州大会では、沖縄県代表としていい成績が残せるよう頑張ります」と話しました。

11/13 (金) 温かいご支援、ありがとうございました 宜野湾電友会より寄附金贈呈



宜野湾電友会(下地晶会長)より、普天間未来基金へ寄附金の贈呈がありました。寄附金は、基地跡地利用に伴う将来の財政需要への備えや、基地跡地で活躍する未来を担う人材育成等に活用することを目的に、中学生の短期海外留学派遣事業や基盤整備事業等に充てられます。下地会長は、「新型コロナの影響で、海外留学派遣は難しいと思いますが、若い子たちが未来に希望を持てるよう、活用していただきたい」と話しました。

11/14 (土) ボランティアを通して、地域を共有 育樹活動および公園ベンチを寄贈



BSA(ボーイスカウト アメリカ連盟)ライフスカウトによる、育樹ボランティアが嘉数高台公園内で行われました。同活動は、地域や学校などで他の人に役立つことを目的に公園や自然道路の整備やバリアフリー施設の設置など多岐にわたる活動を行っています。また、普天間航空基地司令官のヘンリー・ドーベンリー米軍海兵隊大佐より、ゆっくり花見ができるようにと、アルミ製のベンチ3基が寄贈されました。

11/30 (月) 中学校新人空手道競技大会で優勝 全国中学生空手道選抜大会出場を報告



普天間中学校(佐伯進校長)空手部の国吉なごさんが市役所を訪れ、10月に行われた「第23回沖縄県中学校新人空手道競技大会」の女子1年組手において優勝し、埼玉県で開催される全国大会への出場権を獲得したことを報告しました。国吉さんは、「得意な技も苦手な技も、後悔のないように頑張っていきますので、応援をよろしくお願いします」と県大会の感想と全国大会への意気込みを話しました。

12/2 (水) 第42回沖縄県「少年の主張大会」 宜野湾中学校の金城咲南さんが優良賞受賞



宜野湾中学校(原田利明校長)の金城咲南さんが、第42回沖縄県「少年の主張大会」で、優良賞を受賞した報告に訪れました。報告会では実際に大会へ提出した原稿「与えられた環境で」を金城さんが発表し、苦しい状況でも目標に向かってベストを尽くす重要性を語りました。松川市長は「大変感心しました。今回の入賞は、金城さんの一つの自信として力になりますので、これからも頑張ってください」と激励しました。

11/16 (月) 地域支え合い活動委員会 市内23自治会設置を報告



宜野湾市社会福祉協議会の関係者が市役所を訪れ、「地域支え合い活動委員会」の全自治会設置の報告を行いました。「地域支え合い活動委員会」とは、地域の課題を地域でみつけて解決し、高齢者や障がいのある方の見守り、または防災、美化活動など幅広い地域活動を行っています。市社会福祉協議会の多和田会長は、「全自治会が協力して、自治会員の加入を含め、福祉の推進体制をより取り組んでいただきたい」と話しました。

11/16 (月) 温かいご支援、ありがとうございました 願寿苑(がじまる)より寄附金贈呈



高齢者専用住宅「願寿苑(がじまる)」の名嘉廣ご夫婦が市役所を訪れ、寄附金の贈呈を行いました。宜野湾市の福祉施設などに役立ててもらいたいと、平成23年度より毎年継続して寄附をいただいております。老人センターや児童センター、保育施設等の備品購入に充てられています。名嘉廣さんは、「宜野湾市のお年寄りや子どもたちのための福祉に、ぜひ、役立ててほしい」と話しました。

12/6 (日) 日頃から、防災の意識を高めるため 宜野湾市地震・津波避難訓練を実施



西海岸地区の自治会(伊佐区、宇地泊区、嘉数ハイツ)において、地震・津波避難訓練が実施されました。東日本大震災の教訓を踏まえ、地震・津波に対する防災意識の啓発、津波避難体制の確認そして各地域に指定された避難所で避難者受け入れを想定した防災訓練で、参加者には非常食・保存水の提供も行いました。 ※野嵩二区・喜友名区(12/8)、真志喜区・普天間三区(12/20)、大謝名区(12/20)は、防災資機材操作・整備訓練を公民館で実施。

12/21 (月) 安全に、そして快適な道路として 宜野湾11号(佐真下地区)道路開通式



令和2年5月より道路整備工事を進めていた市道宜野湾11号(佐真下交差点付近)について、開通式を行い、道路供用を開始しました。同箇所は一部が軍用地であったため、返還手続きが必要になっていましたが、12月20日に返還が実現したことにより翌21日の供用開始となりました。 今後、同市道の上原～宜野湾区間(約2キロ)の道路整備も進め、今年度末の完成・供用開始を目指していきます。

11/24 (火) 県知事より表彰状を授与 沖縄県社会福祉大会の表彰状伝達式



市の民生委員・児童委員である儀間朝美さんに、沖縄県社会福祉大会の表彰状伝達式を行いました。本表彰状は、沖縄の社会福祉事業のための功労があり、他の模範となる個人・団体の功労を讃え、併せて社会福祉事業の推進に寄与することを目的としており、儀間さんは平成14年に民生委員・児童委員に委嘱されて以降の活動を評価されました。儀間さんは「これからもこの賞に恥じないように頑張ります」と話しました。

11/24 (火) 宜野湾市、石垣市、名護市の3市共同 「デジタルファースト共同宣言」



宜野湾市・石垣市・名護市共同で「デジタルファースト共同宣言」を行いました。デジタルファーストとは手続き・サービスが一貫してデジタルで完結することを意味し、行政事務の効率化、利便性向上等を目的としています。松川市長は「デジタル技術を活用しサービスの向上、行政事務の効率化・高度化を進めてまいります」と話しました。今後、マイナンバーカードを活用した市民サービスの拡大に努めていきます。